

【令和8年 横手警察署管内の不審電話や詐欺被害について】

警察職員や金融機関職員をかたり、個人情報や口座情報を聞き出そうとしたり、SNSで知り合った相手に好意や親近感をいだかせて信用させ、現金や電子マネーを購入させて番号を聞き出すなどの詐欺の手口があります。
 このような電話があった場合は、特殊詐欺を疑い、すぐに警察に相談してください。
 防犯機能付き電話の利用や、電話の相手に録音していることを知らせることも特殊詐欺の被害防止に効果があります。また、国際電話がつかわれる場合もありますので、「+」から始まる電話番号に注意してください。

No.	標 題	発生日時	相談者	被害金品	概要
1	特殊詐欺被害の発生について	1月7日（水）から 1月9日（金）までの間	横手市居住の 20代男性	現金10万円	1月7日、被害者のT i k T o kに「私たちの製品を紹介してくれれば報酬を支払う」とのメッセージが届いた。女性名義のL I N Eアカウントとやりとりすると「韓国発のマスクを郵送する。宣伝すると報酬を得られる。報酬を受け取るため専用サイト『889』に登録するように」と指示された。登録後、相手から契約料と広告費として10万円をサイト上の口座に振り込んだと伝えられたが引き出せなかった。「口座の審査のため10万円を振り込む必要がある」と説明され、指定された法人名義の口座に振り込んだが引き出せず、さらに現金を要求されたため不審に思い警察に相談して詐欺被害に遭ったことに気が付いた。
2	SNS型ロマンス詐欺被害の発生について	令和7年11月中旬から 令和8年1月5日（月）までの間	横手市居住の 30代男性	暗号資産合計565万 8,500円相当	令和7年11月中旬、出会い系アプリで女性を名乗る相手と知り合い、L I N Eで連絡を取り合ううちに親近感を抱くようになった。「叔母が投資で利益を得ている」などと投資に誘われ、12月に指示されて1万円相当の暗号資産を購入した。「S N U V B F X」というアプリのダウンロードと暗号資産取引用アドレスへの送金を求められて従うと、アプリ上では利益が出ているように表示された。相手から「元金を増やすと利益がもっと増える」などと伝えられたため、1月5日にかけてさらに9回、計564万8,500円相当の暗号資産を送金した。その後、相手と連絡が取れなくなり、相手に指示されてダウンロードしたアプリをインターネットで検索したところ、すでに削除されていたことを不審に思い、警察に相談した。
3	特殊詐欺被害の発生について	1月23日（金）から 1月26日（月）までの間	横手市居住の 60代女性	現金約580万円	1月23日、被害者の自宅に農協サポートセンターを名乗る男から電話があり「年金3万5,200円の払い戻しがある」「ATMに行けるか」などと言われた。指定されたATMに到着し車で待っていると再び男から電話があり、指示通りATMを操作した。その後、男から「暗証番号が間違っている」「また行く必要がある」などと電話があったため、指示に従ってATMを操作した結果、自分の口座から8回にわたり、合計580万円が会社名義や個人名義の複数の口座に送金された。1月26日に金融機関から詐欺被害を懸念する連絡を受けた被害者が警察に相談し、発覚した。